

セキショウモ

Vallisneria asiatica Miki

トチカガミ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

かつては、しばしば見られたが、近年失われてごく稀産の植物となった。(現況:R-)

形態

葉は根出葉で線状〜リボン状、長さ30〜70cm、幅4〜10mm。葉の上部には鋸歯がある。沈水性のミクリ属と間違われることがあるが、ミクリ属には鋸歯はない。雌雄異株。雄花は萼片3、花弁はなく、雄蕊1個、雌花は萼片3、花弁はなく仮雄蕊が3個、花柱は3つある。

国内分布

北海道、本州、四国、九州に分布。アジアにも分布。

県内分布

かつては、白山高地区をふくめて全県に分布。近年の調査では中能登区、加賀中央区、南加賀区から報告がある。

生態など

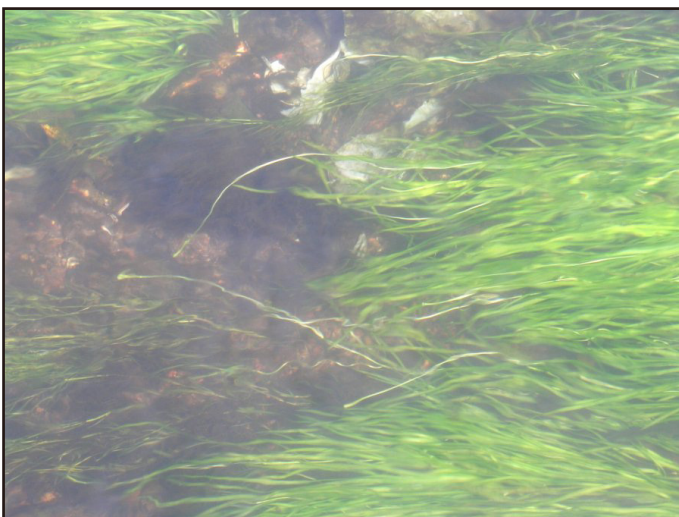
沈水性多年生草本。雄株には、苞鞘内に多数の雄花ができ、苞鞘が破裂すると水中に放出されて、水面に浮き上がる。雌株には苞鞘内に1個の雌花ができ、花柄が伸びて水面に達する。雄花は雌花に流れ着くと、葯が破れて花粉を放出して受粉する。受粉後、花柄がらせん状となって雌花を水中にひきこむ。葉腋から走出枝を出し新苗をつくる。秋、走出枝の先端に「こうがい」状の殖芽ができて冬を越す。

生育環境

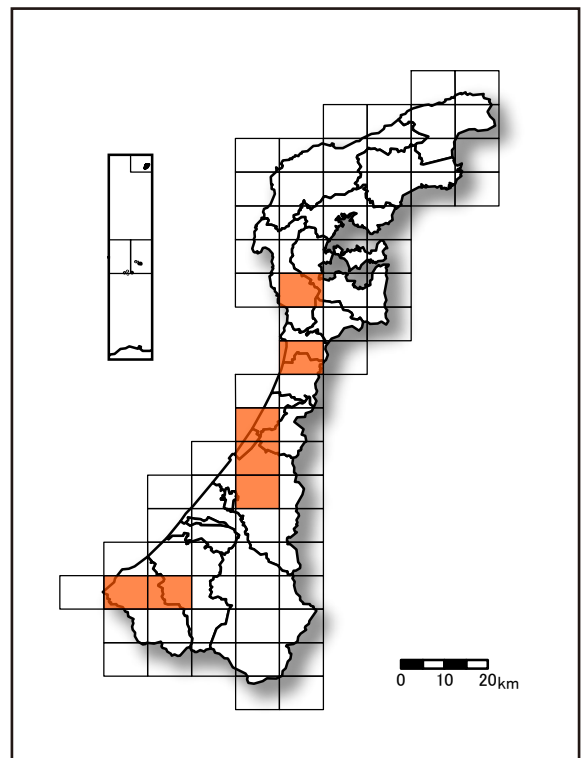
水路、溜池、河川など。

危険要因

河川開発、池沼開発、その他。



小野ふみゑ・2007年8月26日・加賀



県内の分布